

Hands On ながさき 2019 年度事業報告

(2019 年度を振り返って)

過疎化・高齢化が全国平均より早く進行する本県において、行政や指定管理者の市民活動支援センターを補完する立場で市民活動支援を行った。

活動の中で、本会会員が専門資格を取得する、新たに相談支援活動に参加し経験を積むなど、市民活動支援を担う人材育成の結果が見られた。

NPO 法ができて 20 年以上が経過し、NPO 法人の認証申請が減少していくなど、組織形態が必ずしも NPO 法人とは限らないなど支援者としての関わり方も変わるとみられる。組織としての在り方、組織の形よりは、より活動の実態に即した悩みに対する支援が求められていると感じた。

また、長期間にわたり活動してる組織では、活動の中心を担う人材の高齢化、会員の減少が進み活動を続けることが難しくなってきた。今後は、現状の活動支援はもとより、どうしてその活動が必要なのか、それはその組織でなければならないのか、より本質的な事柄の支援になっていくと考えられる。

I. 団体運営

1. 会則の変更

組織の現状と、県民ボランティア活動支援センター、長崎市市民活動センターとの重複などを考慮して、活動の実態に合わせて会則を変更し、総会で承認された。

2. 組織体制

任意団体。会員 13 名。新規入会 1 名。年末年始（12/26-1/6）とお盆期間（8/10-16）は活動を休止。主に理事が中心となって活動した。役員は次の通り。

代表理事：平山美香 副代表理事：福田浩之 理事：中村尊 理事兼事務局長：関根志朗 監事：松野都

3. 会議の開催

2019 年 5 月 25 日に総会を出島交流会館で開催。理事会は随時メッセージャーやカフェにおいて開催した。

4. 人材育成の取り組み

本会主催又は外部団体主催の研修への参加、カフェや対象団体の活動現場での相談支援を通して、市民活動の理解をすすめる、相談支援力の向上を図った。

また、本会の活動を通してファンドレイジングに関心を持った本会会員が準認定ファンドレイザーの資格を取得した。

5. 委員会への参加奨励

本会会員が公募委員として参加している長崎市市民力推進委員会委員、長崎県 NPO・ボランティア活動推進協議会委員（県外転居に伴い 10 月に退任）に就任し、会議に参加した。

6. ウェブサイトの変更

活動開始後から使用していたブログにアクセスできない状態となり、12 月に新しいブログに移行した。

II. 会則に定められた活動

1. NPO・ボランティア活動者のコーディネート

(1) ハンズオンカフェ



NPO、ボランティア活動者の交流を目的に、誰でも気軽に参加して NPO、ボランティアのことについてフリートークができるハンズオンカフェを毎月開催、延べ 70 人が参加（通算 87

回、同 572 人)。NPO、ボランティア活動者の繋がりを作る事ができた。昨年度まで別途開催していた「県外出身者の集い」も本事業の中で実施した。テーマは下記の通り。

4月	助成金説明会（長崎県県民協働課主催事業に参加）
5月	今年度の事業計画について
6月	食品ロス削減推進法自主勉強会（自然共育コミュニティ森のわと共催）
7月	長崎県外出身者の集い
8月	山城を探索するうなぎの会の活動紹介
9月	活動を始めてからの3大ニュース
10月	ハンズオンスナック
11月	NPOとお金の話
12月	障害者施設の餅つき大会に参加（社会福祉法人南高愛隣会さん）
1月	今年の活動予定
2月	ボランティア活動あれこれ
3月	（新型コロナウイルス感染予防拡大のため開催せず）

2. NPOが自立するためのマネジメント支援

（1）長崎県中間支援組織によるNPO組織力強化事業への協力

長崎県内のNPO法人の組織基盤強化及び長崎県内の中間支援者の育成を目的に長崎県が実施。本年度は、指定されたNPO法人の支援員として参加、それ以外の法人の場合は本会の自由意思により支援に参加した。本会からは、新たに3名が参加し、合計して本会会員7名が支援員として登録、相談支援の活動をした。

各法人が抱える組織上の課題解決に一部繋がるとともに本会会員の相談支援力の向上につながった。また活動の中間及び終了後のミーティングで支援活動の報告を行った。

対象法人と主なテーマは次の通り。

- ① NPO法人ドローン情報センター（長崎市）本会支援員参加4回（延べ6名）/全5回
事業の見直し
- ② NPO法人相談室ほっとルーム（長崎市）本会支援員参加1回（延べ1名）/全6回
人材不足、広報の見直し、活動の停滞
- ③ NPO法人にんじんネット協議会（長与町）2回で終了/全6回 本会支援員参加なし
人材不足、財源確保
- ④ NPO法人しらかば（波佐見町）全4回 本会支援員参加なし
事業の優先順位付け、広報戦略作り

（2）ブログでの情報発信

NPO、個人ボランティアの活動に役立つ情報を3月末までに32件ブログで発信した（累計1,527件）。

3. NPO 及びボランティア活動の発展のための調査研究、提言

(1) 長崎市長選挙立候補予定者へのアンケート結果公開と長崎市議へのアンケート

2018 年度に実施した長崎市長立候補予定者へのアンケート結果を公開し、市民に対して選挙の判断材料を提供した。また長崎市の市民活動支援、協働事業を審議する長崎市議会議員総務委員会所属議員に対し、アンケート調査を実施する予定だったが準備に取り掛かることができず未実施となった。

4. NPO・ボランティア活動者の相談支援

(1) ハンズオンクリニック

新規相談 35 件（累計 408 件）メールや電話、活動現場で相談を受けた。団体の運営にかかわる相談が多かった。相談内容と件数は下記の通り（新規相談のみで継続相談は含まない）。

個人の相談	件数	法人・団体の相談	件数
NPO の照会	5	団体の運営	11
団体の運営	1	事業実施について	5
NPO の設立方法	1	活動の PR について	3
活動を始めるにあたって	1	NPO の照会	2
		NPO 同士のネットワーク	1
		災害支援活動	1
		NPO の設立方法	1
		助成金について	1
		物品の寄贈について	1
		講師等紹介	1

5. その他

(1) 災害支援活動

令和元年 8 月に佐賀県武雄市などで豪雨水害が発生し、災害ボランティア活動を行った。また、公益財団法人佐賀未来創造基金に対し、災害ボランティア活動支援金を寄付した。

(2) その他

- ・コミュニティ財団：未来基金ながさきに団体として寄付をした。
- ・長崎シティ FM、アートクエイクと協働したラジオ番組「なないろパーク」は 4/16 収録で終了した。
- ・他県の市民活動支援センターを訪問し意見交換を行った。